

## 試験問題のタイプについて（整理案）

### 1. 合教科・科目型

複数の教科、科目にまたがった内容や、複数の教科、科目の学習内容を総合した内容を出題するもの。同程度の比重での組合せである必要はなく多種多様な組合せが考えられる。

（組合せの例）

「国語＋英語」、「数学＋物理」、「数学＋英語」、「世界史＋政治・経済」、  
「物理＋化学」、「地理＋数学」、「政治・経済＋生物＋地学」

### 2. 総合型

特定の教科、科目の履修を前提とせず、高等学校における様々な学習の成果として習得される、資料読解力、言語運用能力、推論・分析力、数的処理能力等の能力を測定することを主眼とするもの。

### 3. 教科型

高等学校学習指導要領に定める特定の教科、科目の学習内容の範囲内で、当該教科、科目における知識・技能やその活用力を測定するもの。

## 合教科・科目型や総合型を導入する場合の構成例（検討メモ）

### 1. 共通必修科目を統合した試験科目を設定

- ・ 共通必修科目（「国語総合」、「数学Ⅰ」及び「コミュニケーション英語Ⅰ」の3科目、全ての高校生が履修。）を統合した試験科目を設定。
- ・ 共通必修科目以外の「国語」、「数学」及び「外国語」の教科の試験科目（例：数学A・B・Ⅱ）を別途設ける選択肢も考えられる。

### 2. 総合型の試験科目を設定

- ・ 特定の教科・科目の履修を前提としない総合型の問題により構成される試験科目を追加して設定。

### 3. 共通必修科目の内容を教科型の問題に包含

- ・ 教科型の試験科目の出題の中で、共通必修科目の一部又は全部の内容を含めたものを出題（例：物理のリード文を英文で出題、地理の問題の中で数学Ⅰレベルの計算力やデータ分析力を必要とする問題を出題）。
- ・ 共通必修科目以外の「国語」、「数学」及び「外国語」の教科の試験科目（例：数学A・B・Ⅱ）を別途設ける選択肢も考えられる。

### 4. 理科、地歴、公民において合科目型の試験科目を設定

- ・ 理科、地歴、公民において教科ごとに一つの試験科目に統合し、選択回答とする（例：物理、化学、生物、地学の内容を統合した試験科目「理科総合（仮称）」を設定し、2分野以上選択回答。）。

### 5. 上記の組合せ

- ・ 上記1. ～4. の組合せによる出題。

# 高等学校における「必履修教科・科目」と「共通必履修科目」等について (平成21年学習指導要領改訂の考え方)

※ 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」(平成20年1月17日中央教育審議会答申)及び「高等学校学習指導要領解説総則編」(平成21年11月)より

## 【改訂の考え方】

高校生に最低限必要な知識・技能と教養の幅を確保するという「必履修教科・科目」の趣旨(共通性)と学校の創意工夫を生かすための裁量や生徒の選択の幅の拡大(多様性)とのバランスを図る。

## 高等学校における教科・科目等の構成について

### 1 教科・科目

- ①必履修教科・科目(共通必履修科目を含む)
- ②各学科に共通する教科・科目のうち必履修教科・科目以外の教科・科目
- ③学校設定教科・科目:地域、学校及び生徒の実態、学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、各学校で設定する各学科に共通する教科・科目以外の教科・科目 \*卒業単位数に含めることができるのは20単位以内

### 2 総合的な学習の時間(すべての生徒に履修させる必要)

### 3 特別活動(ホームルーム活動<原則年間35単位時間以上>、生徒会活動及び学校行事から構成)

※ 卒業までに修得させる単位数は74単位以上

※ 学校においては、卒業までに修得させる単位数を定め、校長は、当該単位数を修得した者で、特別活動の成果がその目標からみて満足できると認められるものについて、高等学校の全課程の修了を認定。

## 「必履修教科・科目」について

- 学習指導要領に定める高等学校の「必履修教科・科目」(すべての生徒に履修させる教科・科目)は、「高等学校とは何か」ということを学習内容の面から国が示したもの。
- 共通性と多様性のバランスに配慮し、各「必履修教科・科目」の単位数を原則として改訂前より増加させないこととした。(合計で最低31単位)

## 「共通必履修科目」について

- 学習の基盤であり、広い意味での言語を活用する能力とも言うべき力を高める国語、数学、外国語の必履修科目については、すべての高校生が共通に履修する「共通必履修科目」を設けることで、高等学校の教育課程の共通性を高めることとした。
- 具体的には、「国語総合」「数学Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅰ」を「共通必履修科目」として設定。

# 高等学校の各学科に共通する教科・科目等及び標準単位数

〔平成21年告示〕				〔平成11年告示〕			
教科	科目	標準単位数	必履修科目	教科	科目	標準単位数	必履修科目
国語	国語総合	4	○2単位まで可	国語	国語表現Ⅰ	2	○
	国語表現	3			国語表現Ⅱ	2	
	現代文A	2			国語総合	4	
	現代文B	4			現代文	4	
	古典A	2			古典	4	
	古典B	4			古典講読	2	
地理歴史	世界史A	2	○	地理歴史	世界史A	2	○
	世界史B	4			世界史B	4	
	日本史A	2			日本史A	2	
	日本史B	4			日本史B	4	
	地理A	2			地理A	2	
	地理B	4			地理B	4	
公民	現代社会	2	○	公民	現代社会	2	「現代社会」又は「倫理」・「政治・経済」
	倫理	2			倫理	2	
	政治・経済	2			政治・経済	2	
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで可	数学	数学基礎	2	○
	数学Ⅱ	4			数学Ⅰ	3	
	数学Ⅲ	5			数学Ⅱ	4	
	数学A	2			数学Ⅲ	3	
	数学B	2			数学A	2	
	数学活用	2			数学B	2	
理科	科学と人間生活	2	○	理科	理科基礎	2	○
	物理基礎	2			理科総合A	2	
	物理	4			理科総合B	2	
	化学基礎	2			物理Ⅰ	3	
	化学	4			物理Ⅱ	3	
	生物基礎	2			化学Ⅰ	3	
	生物	4			化学Ⅱ	3	
	地学基礎	2			生物Ⅰ	3	
	地学	4			生物Ⅱ	3	
	理科課題研究	1			地学Ⅰ	3	
				地学Ⅱ	3		

〔平成21年告示〕				〔平成11年告示〕				
教科	科目	標準単位数	必履修科目	教科	科目	標準単位数	必履修科目	
保健体育	体育	7~8	○	保健体育	体育	7~8	○	
	保健				2			
芸術	音楽Ⅰ	2	○	芸術	音楽Ⅰ	2	○	
	音楽Ⅱ	2			音楽Ⅱ	2		
	音楽Ⅲ	2			音楽Ⅲ	2		
	美術Ⅰ	2			美術Ⅰ	2		
	美術Ⅱ	2			美術Ⅱ	2		
	美術Ⅲ	2			美術Ⅲ	2		
	工芸Ⅰ	2			工芸Ⅰ	2		
	工芸Ⅱ	2			工芸Ⅱ	2		
	工芸Ⅲ	2			工芸Ⅲ	2		
	書道Ⅰ	2			書道Ⅰ	2		
書道Ⅱ	2	書道Ⅱ	2					
書道Ⅲ	2	書道Ⅲ	2					
外国語	コミュニケーション英語基礎	2	○2単位まで可	外国語	オーラル・コミュニケーションⅠ	2	○	
	コミュニケーション英語Ⅰ	3			オーラル・コミュニケーションⅡ	4		
	コミュニケーション英語Ⅱ	4			英語Ⅰ	3		
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			英語Ⅱ	4		
	英語表現Ⅰ	2			リーディング	4		
	英語表現Ⅱ	4			ライティング	4		
英語会話	2							
家庭	家庭基礎	2	○	家庭	家庭基礎	2	○	
	家庭総合	4			家庭総合	4		
	生活デザイン	4			生活技術	4		
情報	社会と情報	2	○	情報	情報A	2	○	
	情報の科学	2			情報B	2		
総合的な学習の時間				3~6	○2単位まで可			

※ 赤字は共通必履修科目